外国語(英語)科 学習指導案

日　時　令和８年１月 30 日(金)
第５校時　13：35～14：25
学校名
対　象　第２学年　　組　　名
会　場　第　２　学　年　教　室
授業者

１　単元名

Program 8 “A Hope for Lasting Peace” *Sunshine English Course 2* （開隆堂）

２　単元の目標

自分の意見を学級の仲間に知ってもらうために、平和への願いを表す折り鶴の意味と折り鶴の処理に関する課題を本文から理解し、二つの立場を比較しながら、自分が支持する考えを簡単な語句や文を用いて発表することができる。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　受け身を用いた文の形・意味を理解している。 ②　自分の意見を学級の仲間に知ってもらうために、平和への願いを表す折り鶴の意味と折り鶴の処理に関する課題を本文から理解し、二つの立場を比較しながら、自分が支持する考えを簡単な語句や文を用いて発表する技能を身に付けている。 ③　平和記念公園に関する対話文や折り鶴が抱える課題の発表文から、必要な情報を読み取る技能を身に付けている。	①　自分の意見を学級の仲間に知ってもらうために、平和への願いを表す折り鶴の意味と折り鶴の処理に関する課題を本文から理解し、二つの立場を比較しながら、自分が支持する考えを簡単な語句や文を用いて発表している。	①　自分の意見を学級の仲間に知ってもらうために、平和への願いを表す折り鶴の意味と折り鶴の処理に関する課題を本文から理解し、二つの立場を比較しながら、自分が支持する考えを簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。

4　指導観

⑴　単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）第２章　第９節　外国語　第２各言語の目標及び内容等　英語　１　目標　⑷　話すこと［発表］

ウ　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

また、同２　内容〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項

エ　文、文構造及び文法事項 (ｳ)　文法事項 j　受け身

及び、同２　内容〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

イ　日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を選択したり抽出するなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持などを表現すること。

さらに、同２　内容　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項

①　言語活動に関する事項 オ　話すこと［発表］ (ｳ)　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。 ②　言語の働きに関する事項 イ　言語の働きの例 (ｴ)　考えや意図を伝える ・　意見を言う

を受けて、単元の最終段階では、平和への願いを表す折り鶴の意味と折り鶴の処理に関する課題を本文から理解し、二つの立場を比較しながら、自分が支持する考えを学級の仲間に知ってもらうために、簡単な語句や文を用いて発表することを単元の目標とした。

⑵　生徒観

本学級の生徒は、日常的な活動において自分から積極的に発言することに苦手意識をもつ者が多い一方で、時間をかけて自分の考えを整理し、発表する活動には比較的意欲的に取り組む傾向が見られる。また、身近な話題よりも社会的な話題に触れたときの方が、背景にある出来事や人々の思いに関心をもち、自分なりの考えを深めようとする姿がしばしば見られる。

本単元では、社会的な話題である「平和への願い」や「折り鶴が抱える社会課題」を扱うことで、生徒一人一人が内容を自分ごととして捉え、なぜそのような問題が生じているのか、また自分はそれに対してどのように考えるのかを主体的に考察できるようにしたい。さらに、自らの考えを簡潔な英語でまとめ、全員の前で発表することで、社会的課題に向き合う姿勢と、自分の意見伝えようとする態度の育成を目指す。

⑶　教材観

本単元は、「平和」や「環境問題」という社会的な話題を扱い、文章を読むことを通して生徒が内容を多面的に理解し、二つの立場を比較しながら自分の意見を形成していくことをめざして構成されている。「読むこと」を目的化するのではなく、最終的な言語活動である「話すこと［発表］」に向かうための手段として位置付けている。そのため、Part 2 と Part 3 における読み取りは、生徒に自由に解釈させるのではなく、それぞれに「読み取るべき内容」を明示し、生徒がアウトラインを意識して読む活動を設計する。

単元の最終段階では、読んだ内容を根拠として平和への想いと折り鶴が抱える社会的問題から活用を考える意見をそれぞれ支持する立場を示し、次のような発表を目標とする。

【Part 2　説明文】

第１段落

概要　原爆の子の像は誰のためのものか

要点　It was built for Sasaki Sadako and many other children.

第２段落

概要　彼女と折り紙の関係

要点　she believed she would get better by making a thousand paper cranes.

第３段落

概要　折り紙の今

要点　Now paper cranes are sent by many people to the monument.

【Part 3　説明文】

第１段落

概要　広島には毎年大量の折り鶴が集まり、その保管に費用がかかる課題

要点　One of those ways was to recycle them into goods, such as origami paper to relay the wishes.

第２段落

概要　再生紙を使って折り鶴を作ることの未来

要点　If they use the recycled origami paper to fold cranes, they can renew their hope for lasting peace.

（例）　（平和を大切にしたい立場）

I think paper cranes are important symbols of peace.

Paper cranes are sent to Hiroshima by many people. They are loved by people around the world. Some people say there are too many paper cranes, but they are made with hope for peace.

I believe paper cranes are necessary to remember peace. When they are known well, the meaning of peace is learned by many people.

（折り鶴の活用を考える立場）

I think new ways of using paper cranes are important.

Many paper cranes are sent to Hiroshima every year. There are too many paper cranes to keep. They are used as symbols of peace.

I believe recycling paper cranes is a good way to share peace. When they are used in new forms, we can save the earth.

５　年間指導計画における位置付け

月	単元名	学習内容
4	PROGRAM 1 New Start	「読むこと」
	Step 1 簡単な表現で言いかえよう	「話すこと［やり取り］」
5	PROGRAM 2 Koshien Project in Africa	「話すこと［発表］」
	Power-Up 1 天気予報を聞こう	「聞くこと」
6	Step 2 魅力を伝えるためのコツを知ろう	「話すこと［発表］」
	PROGRAM 3 Taste of Culture	「読むこと」
7	Our Project 4 海外でヒットするラーメンの CM を作ろう	「話すこと［発表］」
	Reading 1 The Three Dolls	「読むこと」
	Power-Up 2 電話をかけよう	「話すこと［やり取り］」
9	PROGRAM 4 Leave Only Footprints	「書くこと」
	Power-Up 3 レストランで食事をしよう	「話すこと［やり取り］」
10	Step 3 わかりやすい見出しをつけよう	「書くこと」
	PROGRAM 5 Work Experience	「聞くこと」
	PROGRAM 6 High-Tech Nature	「話すこと［やり取り］」
11	Power-Up 4 メールで近況報告をしよう	「書くこと」
	Step 4 相手にわかりやすい説明をしよう	「話すこと［発表］」
12	Our Project 5 日本のおすすめスポットを紹介しよう	「話すこと［やり取り］」
	Reading 2 Friendship beyond Time and Borders	「読むこと」
	PROGRAM 7 Unique Animals	「書くこと」
1	PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace	「話すこと［発表］」
2	Step 5 説得力のある説明をしよう	「話すこと［やり取り］」
	Our Project 6 My Hero の魅力を伝えよう	「話すこと［発表］」

3	Reading 3 Apollo 13	「読むこと」
通年	単元テスト	
	定期考査	
	パフォーマンステスト	

6　単元の指導計画と評価計画（全８時間）

時	目標	○学習内容　・学習活動	評価規準 （評価内容）
第1時	Program 8 の扉絵や Tuning in の問いを手がかりに今後の学習の見通しをもつ。	○　扉絵の導入 ・　扉絵から見えることや想像したことについて生徒とやり取りを展開する。 ○　Tuning in の確認 ・　本単元の全体を把握する。	ウ－①（観察、振り返りシート）
第2時	PROGRAM 8 Part 2 を読み取り、折り鶴が平和への象徴になっていることについて知る。	○　Part 2 の内容理解 ・　それぞれのパートを通読する。 ・　Part 2 のアウトラインを捉える。	ア－③（観察、ワークシート、振り返りシート）
第3時	PROGRAM 8 Part 3 の内容を読み取り、折り鶴の処理問題ついて知る。	○　前時の復習 ・　閉本した状態で振り返る。 ○　Part 3 の内容理解 ・　通読する。 ・　Part 3 のアウトラインを捉える。	ア－③（観察、ワークシート）
第4時	二つの立場のどちらを発表したいか班のメンバーとブレインストーミングを行い、新しい発想を得る。	○　前時の復習 ・　閉本した状態で振り返る。 ○　班のメンバーと考察 ・　自分の経験や価値観と結び付けてどちらの立場を選ぶか考える。 ・　選んだ立場の理由を日本語で短く整理する。	ウ－①（振り返りシート）

第５時（本時）	アウトラインを使って発表の内容を考える。	○　アウトラインの提示 ・　教師が賛同する意見、自分の意見や提案、メリットなどの主張を示す。 ○　アウトラインの作成 ・　辞書を引きながら作成する。 ・　班のメンバーとお互いのものを確認し、意見交換する。 ・　スライドの作成。	アー②（観察） ウー①（振り返りシート）
第６時	受け身を用いた文の形・意味を理解する。	○　受け身の文法理解 ・　ワークシートを使って受け身の文の形・意味を理解する。	アー①（ペーパーテスト）
第７時	発表をより良いものにする。	○　発表文の考案 ・　各自の発表内容を組み立てる。 ○　中間評価 ・　他の生徒の内容面と表現面での発表を聞き、何が参考になったかを班のメンバーと意見交換をする。 ○　自己の発表の振り返り ・　中間評価を受けて、自分の発表内容を再確認する。	ウー①(観察、振り返りシート)
第８時	選んだ立場のプレゼンテーションを行う。	○　発表 ・　メモやスライドを用いて選んだ立場の発表をする。 ・　聞いている生徒は、相互評価用紙に採点と感想をメモする。	イー①(パフォーマンステスト) ウー①(パフォーマンステスト)

7　指導に当たって

ア　広島や折り鶴の歴史的背景、平和への願いが込められた想い、大量の折り鶴の保管・処理に関する課題を読み取り、自分の生活や価値観に照らして考え、自分自身の視点でまとめ、自分の意見を伝えようとする「主体的な学び」を促す。

イ　折り鶴に込められた平和への願いと、大量の折り鶴の保管・処理に関する課題の両方について、お互いに意見を交換しながら多面的な視点を知り、理解を広げることで「対話的な学び」を促す。

ウ　平和の象徴としての折り鶴の価値、現代社会が抱える折る鶴の処理問題のどちらかを自分の考えにまとめ、中間評価を行い、より良い発表に再構築することで、「深い学び」につなげる。

8　本時（全８時間中の第５時）

⑴　本時の目標

アウトラインを使って発表の内容を考える。

⑵　本時の展開

時間	○学習内容　・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準（評価方法）
導入 （５分）	○　挨拶 ○　歌 ○　本時の目標 アウトラインを使って発表の内容を考える。	・　英語の授業の雰囲気をつくる。	
展開① （20 分）	○　アウトライン（概要と要点とも）の振り返り ・　Part 2 と Part 3 の復習からアウトラインを振り返る。 ○　アウトライン（概要のみ）の共有 ・　「二つの立場」ともに共通する概要を考えさせ、意見公開してまとめる。 ○　アウトライン（要点）の作成 ・　辞書を活用し、必要な語句や表現を調べながら発表文を作成する。	・　スライドを使用し、段落ごと（序論、本論、結論）のアウトライン（概要と要点とも）を示す。 ・　概要としては、序論として「どちらの立場か」、本論として「それを選んだ理由」、結論として「自分の考え」を導く。	アー② 自分の意見を学級の仲間に知ってもらうために、平和への願いを表す折り鶴の意味と折り鶴の処理に関する課題を本文から理解し、二つの立場を比較しながら、自分が支持する考えを簡単な語句や文を用いて発表する技能を身に付けている。（観察） ウー① 自分の意見を学級の仲間に知ってもらうために、平和への願いを表す折り鶴の意味と折り鶴の処理に関する課題を本文から理解し、二つの立場を比較しながら、自分が支持する考えを簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。（ワークシート）

展開② （20 分）	○　班のメンバーで共有 ・　班のメンバーとアウトラインを見せ合い、内容や表現について意見交換を行う。 ○　中間評価 ・　中間評価として参考になる生徒を選び、アウトライン（概要と要点とも）を共有する。 ○　各自のアウトラインの修正 ・　三つの概要を再確認する。	・　アウトライン（概要と要点とも）が示されているかの確認を促す。 ・　アウトライン（概要と要点とも）が分かりやすい生徒を選ぶ。 ・　それぞれの立場でアウトラインに反映されているか確認する。	
まとめ （５分）	○　振り返り ・　振り返りシートに記入する。 ○　挨拶	・　本時の活動を振り返る。	

⑶　板書計画

スクリーン	本時の目標

⑷　授業観察の視点

ア　広島や折り鶴の歴史的背景、平和への願いが込められた想い、大量の折り鶴の保管・処理に関する課題を読み取り、自分の生活や価値観に照らして考え、自分自身の視点でまとめ、自分の意見を伝えようとする「主体的な学び」を促すことができたか。

イ　折り鶴に込められた平和への願いと、大量の折り鶴の保管・処理に関する課題の両方について、お互いに意見を交換しながら多様な視点を知り、理解を広げることで「対話的な学び」を促すことができたか。

ウ　平和の象徴としての折り鶴の価値、現代社会が抱える折る鶴の処理問題のどちらかを自分の考えにまとめ、中間評価を行い、より良い発表に再構築することで、「深い学び」につなげられたか。